

## 2級 解答・解説

第1問 (20点)

解答

	仕		訳		
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
1	普通預金	504,000	売掛金 為替差損益	480,000 24,000	A
2	法人税、住民税及び事業税	345,600	仮払法人税等 未払法人税等	192,000 153,600	A
3	未収入金 有価証券売却損	816,000 24,000	売買目的有価証券	840,000	B
4	当座預金 役務原価	672,000 349,440	役務収益 仕掛品	672,000 349,440	A
5	研究開発費	702,000	当座預金 未払金	468,000 234,000	A

A: 確実に正解したい       O: 資料からの数値変更なし  
 B: できれば正解したい      ☠: 難易度高いため、後回し

仕訳1組につき4点 合計20点

第2問 (20点)

解答

問1	¥	☠	★	47,760
問2	¥	A	★	247,500
問3	¥	A	★	180,000
問4	¥	A	★	300,000
問5	¥	B	★	540,000

A: 確実に正解したい       O: 資料からの数値変更なし  
 B: できれば正解したい      ☠: 難易度高いため、後回し

★ 1つにつき4点 合計20点

第3問 (20点)

解 答

損 益 計 算 書		(単位：円)	
自平成28年4月1日 至平成29年3月31日			
I 売 上 高	( <input checked="" type="checkbox"/> A )	★	1,680,000 )
II 売 上 原 価			
1. 期首商品棚卸高	( <input type="checkbox"/> O )		37,200 )
2. 当期商品仕入高	( <input type="checkbox"/> O )		864,000 )
合 計	(		901,200 )
3. 期末商品棚卸高	( <input type="checkbox"/> B )		67,800 )
差 引	(		833,400 )
4. 棚卸減耗損	( <input type="checkbox"/> A )		3,000 )
5. (商品評価損)	( <input type="checkbox"/> B )	★	2,700 )
売上総利益	(		839,100 )
III 販売費及び一般管理費			( 840,900 )
1. 給 料	( <input type="checkbox"/> A )		242,400 )
2. 保 険 料	( <input type="checkbox"/> A )	★	32,400 )
3. (支払リース料)	( <input type="checkbox"/> A )	★	18,600 )
4. 減価償却費	( <input type="checkbox"/> B )	★	113,700 )
5. 貸倒引当金繰入	( <input type="checkbox"/> A )	★	1,080 )
(営業利益)	(		408,180 )
IV 営業外収益			( 432,720 )
1. 有価証券利息	( <input type="checkbox"/> B )	★	2,400 )
2. 有価証券評価益	( <input type="checkbox"/> A )	★	4,200 )
3. 受取利息	( <input type="checkbox"/> A )	★	1,800 )
V 営業外費用			( 8,400 )
1. 支払利息	( <input type="checkbox"/> A )		13,800 )
2. (貸倒引当金繰入)	( <input type="checkbox"/> A )	★	3,600 )
(経常利益)	(		17,400 )
VI 特別利益			( 423,720 )
1. 固定資産売却益	( <input type="checkbox"/> O )		5,880 )
VII 特別損失			
1. 災害損失	( <input type="checkbox"/> O )		12,300 )
税引前当期純利益	(	☠	417,300 )
法人税、住民税及び事業税	(	☠	126,000 )
(当期純利益)	(	☠	291,300 )

- |  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> A : 確実に正解したい | <input type="checkbox"/> O : 資料からの数値変更なし |
| <input type="checkbox"/> B : できれば正解したい           | ☠ : 難易度高いため、後回し                          |

★ 1つにつき2点 合計20点

第4問 (20点)

解答

	仕		訳		
	借方科目	金額	貸方科目	金額	
1	材 料	2,088,000	買 掛 金 現 金	2,001,000 87,000	<input type="checkbox"/> A
2	仕 掛 品	2,172,000	材 料	2,172,000	<input type="checkbox"/> A
3	仕 掛 品 費 製 造 間 接 費	3,840,000 576,000	賃 金 ・ 給 料	4,416,000	<input type="checkbox"/> A
4	仕 掛 品	3,534,000	製 造 間 接 費	3,534,000	<input type="checkbox"/> A
5	製 品	8,646,000	仕 掛 品	8,646,000	<input type="checkbox"/> B

- A: 確実に正解したい      O: 資料からの数値変更なし  
B: できれば正解したい      X: 難易度高いため、後回し

仕訳1組につき4点 合計20点

第5問 (20点)

解答

A社は直接原価計算方式の損益計算書を採用している。直接原価計算方式の損益計算では、原価（製造原価、販売費および一般管理費）を（①A 変動費）と（②A 固定費）とに分解し、売上高からまず①を差し引いて（③A 貢献利益）を計算し、③から②を差し引いて営業利益を計算する。

A社の直接原価計算方式の営業利益は1,500,000千円であるが、全部原価計算方式によると営業利益は（④B 1,620,000）千円となる。この営業利益の差は、全部原価計算方式において期末棚卸資産に含まれる（⑤B 固定費）の分である。

A社の貢献利益率は（⑥A 40）%、損益分岐点販売量は（⑦A 9,000）台である。損益分岐点の販売量と実際の販売量との差を安全余裕度というが、A社の安全余裕度は（⑧A 15,000）台である。

A社の売上高営業利益率は25%である。売上高営業利益率30%の営業利益を達成するために必要だった売上高は（⑨B 9,000,000）千円であり、そのときの③は（⑩B 3,600,000）千円である。

- A: 確実に正解したい      O: 資料からの数値変更なし  
B: できれば正解したい      X: 難易度高いため、後回し

①~⑩ 各2点 合計20点